

# Shoten 街 コーポラス 2010

## 石川県商店街振興組合連合会・石川県商店街連合会 平成22年度通常総会(役員改選)開催



石川県商店街振興組合連合会通常総会が、去る5月28日(金)午後4時から金沢ニューグランドホテルにおいて開催されました。

東川理事長が議長となって審議が進められ、平成21年度事業報告・決算報告が承認された後、平成22年度事業計画では、昨年の8月1日施行された「地域商店街活性化法」において、法の目指すところは、地域商店街の活力向上・再生をはかるとともに、地域の活性化をはかることにより、商店街に新たな顧客を創造することにあり、またそのためには、地域商店街・個店に魅力を創出し、地域の人たちを、新規の顧客として、今一度、商店街に呼び戻していく、そういった取り組みが不可欠であること、県においても、商業活性化推進支援事業を充実させ、「地域生活再生事業」や「魅力向上事業」といった支援事業を、新たにメニュー化しており、県・国(全振連)・商店街が一体となって、それら支援事業を利活用し、地域コミュニティの中核としての役割を果たし、積極的に事業を展開していくことの必要性を説明し、原案どおり承認されました。

今年度は、定款の規定による、役員改選がおこなわれ、単位組合からの推薦者をもって当選者とし、満場一致で理事が選任されました。

ご来賓の石川県商工労働部経営支援課参事打田正嗣氏よりご祝辞をいただいた後、第2回理事会が開催され、東川理事長は理事(相談役)として、また後任の理事長に、小間井隆幸氏(当県振連副理事長・片町商店街振興組合理事長)が、副理事長に、中島祥博氏(当県振連専務理事・武蔵商店街振興組合理事長)、小浦克彦氏(輪島市本町商店街振興組合理事長)、新木肇氏(小松中央通り商店街振興組合理事長)が、専務理事に、大友哲氏(堅町商店街振興組合理事長)が就任されました。

引き続き、石川県商店街連合会の通常総会がおこなわれ、東川会長を議長に、平成21年度事業報告・決算報告、平成22年度事業計画・予算(案)の議案審議を諮り原案どおり承認されました。また、役員改選では、各連盟・連合会等からの推薦者をもって当選者とし、満場一致で会長、副会長、理事が選任されました。

東川会長の後任に、小間井隆幸氏(金沢市商店街連盟会長)が会長に、副会長に、島村敏行氏(小松商店会連盟会長)が就任されました。

議案審議終了後、ご来賓の石川県商工会議所連合会専務理事越島正喜氏よりご祝辞をいただき閉会しました。

### 平成22年度石川県商店街振興組合連合会 役員

役職	氏名(敬称略)	振興組合名
理事長	小間井隆幸	片町商店街振興組合
副理事長	中島祥博	武蔵商店街振興組合
副理事長	小浦克彦	輪島市本町商店街振興組合
副理事長	新木肇	小松中央通り商店街振興組合
専務理事	大友哲	堅町商店街振興組合
理事(相談役)	東川庄一	堅町商店街振興組合
理事	所村真	横安江町商店街振興組合
理事	瀬戸正昭	尾山神社前商店街振興組合
理事	山本隆文	香林坊商店街振興組合
理事	近本嘉一	玉川町通り商店街振興組合
理事	室谷幸秀	三日市商店街振興組合
理事	荒井角男	近江町市場商店街振興組合
理事	谷一則	彦三商店街振興組合
理事	村中忠雄	平和町大通り商店街振興組合
理事	富岡加賀夫	八日市商店街振興組合
理事	鈴木満	尾張町商店街振興組合
理事	福嶋満	山代温泉通り商店街振興組合
理事	得能勝秀	七尾駅前通り商店街振興組合
理事	木谷廣夫	輪島市まんなか商店街振興組合
監事	山根繁	石引商店街振興組合
監事	福村清	駅前別院通り商店街振興組合

### 平成22年度石川県商店街連合会 役員

役職	氏名(敬称略)	所属役職名
会長	小間井隆幸	金沢市商店街連盟 会長
副会長	島村敏行	小松商店会連盟 会長
理事	中島祥博	金沢市商店街連盟 副会長
理事	山本隆文	金沢市商店街連盟 副会長
理事	大友哲	金沢市商店街連盟 副会長
理事	西村健一	小松商店会連盟 副会長
理事	千歩純義	小松商店会連盟 専務理事
理事	浅野良幸	七尾商店街連合会 会長
理事	宮川晴行	七尾商店街連合会 監事
理事	小崎正信	加賀市商店会連盟 会長
理事	岡田豊	加賀市商店会連盟 副会長
理事	板谷七海雄	輪島市商店街連合会 会長
理事	坂下敏博	輪島市商店街連合会 専務理事
理事	床坊紘	飯田町商店街協同組合 理事長
理事	泉谷信七	飯田町商店街協同組合 監事
理事	布目光英	白山市松任商店街連合会 会長
理事	乙村貴正	白山市松任商店街連合会 副会長
監事	福村清	金沢市商店街連盟 理事
監事	山根繁	金沢市商店街連盟 監事

### 平成22年10月1日の国勢調査にご協力を

10月1日は、国勢調査。全国一斉に実施されます。調査票は、9月下旬から調査員が各世帯を訪問して配布されます。記入いただいた調査票は封筒に入れ封をした上で調査員に渡していただくか、市区町村に郵送で提出していただけます。今回の国勢調査は、我が国が本格的な人口減少社会となって実施する最初の国勢調査で、日本の未来を考えるために欠くことのできない重要な調査です。

調査結果は、高齢者の介護、医療、若者の雇用対策、児童福祉、地域の活性化など、私たちの暮らしのさまざまな分野で役立てられる基礎データになります。

調査票に記入していただいた内容は、統計の作成に関連する目的以外に使用することはありません。

**国勢調査は、平成22年10月1日現在、日本に住んでいるすべての人及び世帯が対象です。**



あなたの調査票  
から日本の未来  
が見えてきます

10月1日、国勢調査を実施します!



国勢調査

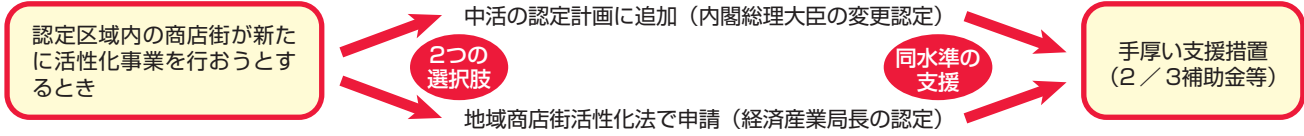
平成22年10月1日

総務省統計局・石川県・市町

# 地域商店街活性化法を積極的に活用して商店街の活性化を促進しよう！

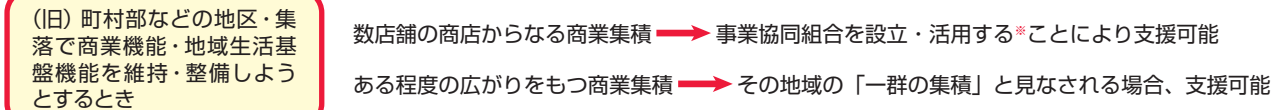
## 地域商店街活性化法の活用

### 1 中心市街地内の商店街も支援対象

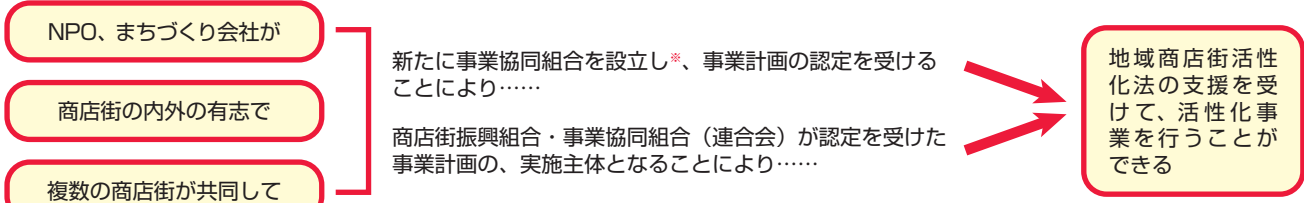


### 2 (旧) 町村部などの商業集積においても活用可能

地域商店街活性化法では「商店街」の定義なし → さまざまな規模・広がり商業集積を支援



### 3 商店街活性化の多様な担い手、連携手法を支援



\*本法の支援対象である事業協同組合は、4以上の中小企業者により設立可能

## 1 全国各地の商店街の様々な「地域商店街活性化事業計画」の取り組み

「商店街の活性化のための地域住民の需要に応じた事業活動の促進に関する法律」（「地域商店街活性化法」・平成21年法律第80号）が昨年の8月1日施行されました。この法律は、商店街が「地域コミュニティの担い手」として行う地域住民の生活の利便を高める取り組みを支援することにより、地域と一体となったコミュニティづくりを促進し、商店街の活性化や商店街を担う人材対策の強化を促進することを目的としています。

商店街ならではの「地域コミュニティの担い手」としての機能を発揮することで商店街の活性化を図ろうという「商店街活性化事業計画」について、本年6月21日に第3次案件として事業計画12件の認定がありました。第1次認定（平成21年10月9日）、第2次認定（平成22年2月25日）の認定を含め、商店街活性化事業計画の認定件数は、合計45件となっています。

### ①第3次認定案件については次のとおり

- 郡山駅前大通商店街振興組合・郡山中央商店街振興組合（福島県郡山市）  
一店逸品事業（逸品店回りツアー、郡山商人どんと祭り・ホワイトイルミネーション事業・音楽都市を生かしたコンサート等イベント実施）
- 仲町商店街振興組合・中央通り商店街振興組合・しもなん活性化協同組合（福島県喜多方市）  
蔵のまちなみを活かすため蔵を覆い隠すアーケード撤去・夜間の安心のフットライト設置を含めたファサード整備・景観統一を図る・喜多方レトロ横丁イベント実施
- わいわいロード商店街振興組合（埼玉県草加市）  
「夢空間・おとぎの杜」の創出（エコ型街路灯修理、カラー照明設置）、デジタルサイネージを活用した商店街情報発信、高齢者向け移動販売事業、小中生対象の商店街体験実習等おこなう
- 小千谷市東大通商店街振興組合（新潟県小千谷市）  
空き店舗活用し地元農家と連携「農産物直売所」、地場食材の「惣菜ショップ」の開設で安全安心の食を提供。交流スペース、高齢者向け購入品宅配等サービスの実施
- 銀座通り商店街振興組合（愛知県瀬戸市）  
女性向け生活雑貨のテナントミックス事業（地域資源、陶器を活用）、商店街案内マップの充実、営業日追加、空き店舗を活用したコミュニティスペース設置（商店街の歴史・見せどころを紹介）で来街者の利便性を高める。
- 西町商店街協同組合（愛知県豊田市）  
多様な団体を巻き込んで、はしご酒イベントを発展させるなどして魅力店舗創出と商店街の認知度向上を図る、「飲食店ストリート」構築を目指した取り組みや多様な情報発信、防犯カメラ、LED街路灯、AED設置、安心・安全な商店街づくり
- 石山商店街振興組合（滋賀県大津市）  
商店街、地域の企業・農協などの各種団体のこだわり逸品やオリジナル商品などの展示販売イベント
- 柏里本通商店街振興組合（大阪府大阪市）  
高齢者、子ども、商店主など地域住民交流のコミュニティ施設設置。クリーンアップ事業（買い物券、ポイント付与）でクリーンな環境の実現と商店街売上向上を図る。アーケードの照明を利用したセール案内、天気予報等の情報発信

- 宗右衛門町商店街振興組合（大阪府大阪市）  
個店の個性、魅力向上させるための「宗右衛門町ブランド化事業」で付加価値の高い店舗集積を目指す。官民一体となった地域の環境浄化の推進、街路舗装や街路灯などの整備をし、歴史・風情が息づく街並みの再生・創造をおこなう。
- 鳳本通商店街振興組合（大阪府堺市）  
高齢者、障害者、子育て世帯の交流をテーマとしたイベント実施し、商店街を地域の交流拠点とする。アーケードの改修で明るく快適な買い物環境整備する。
- 山口道場門前商店街振興組合（山口県山口市）  
空き店舗活用した、「やさしいくらしのまち」をコンセプトに、高齢者、女性をターゲットにしたカフェの開業、他県の特産品も集めた「ふるさと物産館」整備し、既存の地元物産展と相乗効果を生み出す集客拠点とする。
- 宇宿商店街振興組合（鹿児島県鹿児島市）  
交流スペース等の整備（携帯電話、GPS等を活用した高齢者・子どもの見守り、買い物利便性向上させるため商店街情報発信をおこなう）

### ②第1次認定案件については次のとおり

- 宮古市末広町商店街振興組合（岩手県宮古市）  
空き店舗活用した宮古地域の連携・交流促進（地域郷土芸能・小中生の体験学習定期開催）、LED設置し安全快適な商業空間を創出
- 大館市大町商店街振興組合（秋田県大館市）  
地域住民のためのコミュニティ活性化事業（「ハチ公ヤートセ」開催、「ハチ公小路」整備、ポイントカードシステム実施）
- 神明通り商店街振興組合、大町四ツ角中央商店街振興組合（福島県会津若松市）  
空き店舗改装・テナントミックス事業、ファサード整備、ファーマーズマーケット事業等開催で百貨店テナント・商店街・市民一体となった中心市街地賑わい再生事業（賑わいモール化）
- 武蔵小山商店街振興組合（東京都品川区）  
パルム独自のパイロットプロジェクトの実践による、若手リーダーの育成の実践的OJT事業等で新しい都市型商店街の再生モデルづくり
- 中延商店街振興組合（東京都品川区）  
大分県竹田市等と連携した特産品アンテナショップの開設によるブランド力、集客能力の向上
- 商店街振興組合原宿表参道櫓会（東京都渋谷区）  
原宿表参道の個性（緑・和・洋）を活かした「職住のバランス」の取れた地域活性化事業



- 三条中央商店街振興組合 (新潟県三条市)  
三条市の元気はつらつな女性の感性を活かした「買い物便利」「触れ合いあふれる」商店街作り
  - 長岡市大手通商店街振興組合 (新潟県長岡市)  
市民参加型イルミネーション事業、「山本五十六市」、空き店舗活用した地域特産品アンテナショップ事業で商店街復活に向けた夢とロマン創出
  - 岩村田町商店街振興組合 (長野県佐久市)  
中山道 岩村田宿の歴史と文化を生かしたチャレンジショップ(高校生が主役)、農工商連携による地域ブランド創生、大規模店舗と連携した地域通貨の導入等でまちづくり活性化事業
  - 栄町商店街振興組合 (愛知県名古屋)  
エコプラ・健プラ・トリエンナーレイルミ事業でショーウィンドの美術ギャラリー化、著名人手形アート、フラワー芸術等を実施した広小路通栄地区活性化
  - 四日市諏訪商店街振興組合 (三重県四日市市)  
防犯カメラ設置、駐車場のLED照明化、太陽光発電システム設置で「安全・安心・エコ」、活性化と電気抑制分を集客イベント、防犯・環境PRをおこなう。
  - 千日前道具屋筋商店街振興組合 (大阪府大阪市)  
アーケードにLED照明と太陽光パネル導入、警察・NPOと連携した防犯・環境PRイベント開催、夜間照明の延長による地域住民の安全・安心に貢献
  - 池田栄町商店街振興組合 (大阪府池田市)  
子どもたちの、笑顔あふれる商店街づくり事業
  - 吳中通商店街振興組合 (広島県呉市)  
アーケード改修、空き店舗活用した高齢者コミュニティセンター設置。
  - 中心街事業協同組合 (高知県高知市)  
空き店舗活用・ヒト・モノ・情報の交流促進イベントの実施、若手育成の人材育成や高齢者や子育て世代等対象の講座を開催した商店街活性化事業
  - 飯塚市本町商店街振興組合 (福岡県飯塚市)  
江戸の宿場町情緒を創出するためのファサード整備、アーケード改修、宿場町イベント開催、散策コース設置で、幅広い年齢層に楽しめる商店街づくり
  - 健軍商店街振興組合 (熊本県熊本市)  
医療・福祉・個訴当て機関との連携(医商連携)による次世代型まちづくり事業
  - 協同組合人吉商連、人吉東九日町商店街振興組合、人吉市西九日町商店街振興組合 (熊本県人吉市)  
お「ひとよし」の街に、くま川軽トラック市、おひなまつり、街かど資料館の開催、レトロな公衆浴場でジャズコンサートなどで新たなふれあいの場、「ふれあい交差点」創出、これらのイベント情報、バーゲン等情報発信
  - 四日市商店街振興組合 (大分県宇佐市)  
空き店舗活用・高齢者ニーズに合ったアンテナショップ、休憩所「およこいスポット」の設置、高齢者に愛され、頼られる商店街づくり事業
- ③第2次認定案件については次のとおり
- 鹿角市花輪大町商店街振興組合、鹿角市花輪新町商店街振興組合 (秋田県鹿角市)  
空き店舗活用・アーケード改修・健康散歩ロード設置、核施設と商店街が一体化した賑わい創出事業～まちの大型空き店舗の再生と回遊性による、出逢い、ふれあい創出～

## 農林漁業と商工業を結び新事業をカタチに！～農工商連携フォーラムin金沢～

(平成21年12月10日、金沢都ホテル)

中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律(農工商等連携促進法・平成20年7月21日施行)により商工業と農林水産業等の連携促進を図り、地域活性化のための取り組みを支援していくものです。

平成21年度第3回北陸で事業計画が認定されたものは次の2件です。

**1 「輪島海女の素潜り手摘み天然ワカメ・モズク」の加工食品の開発・製造・販売**  
(平成21年12月10日認定・4-21-051)

- ・農林漁業者 ▶ 石川県漁業協同組合輪島支所
- ・中小企業者 ▶ 株式会社ホクチン  
優れた加工技術、全国に流通ルートをもっており、「輪島ブランド」として全国販売。
- ・連携参加者 ▶ 株式会社ヤマト  
食品加工のノウハウを活用、殺菌処理・包装加工を加え商品化。
- ・サポート機関 ▶ 輪島商工会議所、地域活性化支援事務局

市場のワカメ・モズクの大半を養殖物が占める今日、輪島市の沿岸に豊富に生育する天然物を海女の素潜りで採集し、天然志向の消費者向け商品として天然100%の湯通し塩蔵ワカメ、塩蔵岩モズク、岩モズクの佃煮などを開発。今日まで自家消費程度で商品化されておらず、地域資源の有効活用につながる、と同時に採取は海女の漁閑期における安定収入の確保に寄与する。

**2 トレーサビリティを確立した無濾過純米酒と純米酒ベースの梅酒の製造・販売事業**  
富山県砺波市(平成21年12月10日認定・4-21-050)

- ・農林漁業者 ▶ 金山農業協同組合  
GAP手法の導入、土壌改良などでトレーサビリティを確立した品質の高い酒造好適米を安定生産が可能、経営の安定化が図れる。
- ・中小企業者 ▶ 立山酒造株式会社  
無濾過純米酒の製造、それをベースにこれまでにない香り豊かな梅酒を生産。高品質でトレーサビリティを確立した新商品開発で差別化できる商品の強化、販路拡大が期待できる。
- ・連携参加者 ▶ 株式会社アスク、株式会社花の露、東北大学  
日本アルコール産業株式会社  
酒造好適米の土壌改良など
- ・サポート機関 ▶ 高岡商工会議所、地域活性化支援事務局

### 農工商連携を運営するポイント集をまとめる(平成22年4月)

経済産業省は、農林水産省と共同で、「農工商連携で地域を活性化するポイント」～地域を活性化する農工商連携ベストプラクティス30を参考に～をとりまとめました。

プロジェクトを運営する事業者が直面する①連携基盤の整備、②商品開発、③販路開拓、④広報、の視点から、30の成功事例を取り上げ、成功者が継続的に事業展開しているポイントなどを整理したものです。

# 産学連携によるまちづくり

～石引商店街（金沢）と金沢美術工芸大学の共同プロジェクトでまちのにぎわいづくりに効果発揮～

3月20日21日の両日、商店街が金沢美大学生有志が運営する「ARTIST ONE」と連携、「つながり」と「発信」をテーマにARTIST ONEが企画した、美大が一番近い商店街、石引で、歩いて！廻って！観て！食べて！アートと石引を存分に楽しめる1週間！イベント「アートステーション石引2010」がおこなわれました。



大学においては、学生の作品発表の場として、又地域で企画し運営体験し、社会とのかかわりのなかで芸術を事業としてとらえる「まちなかアートマネジメント」の実践の場として活用する一方、商店街においては、まちの通行量の拡大、まちのにぎわい創出に寄与できることから、平成19年9月の第1回地域連携事業として実現し、今回で第3回目を迎えたものです。

当日は、あいにくの小雨交じりの日和でしたが、商店街の中心に本部「びっきの部屋（What's "びっきラジオ?"）」が置かれ、ミニFMラジオ（83MHz）開設。商店街イベントPRやラジオリクエスト、それにまちかどいっばいに音楽流れるなか、石引通りは、アートマーケット、作品の展示、バンドやパフォーマンスが、石引地下広場では、金美アフリカンダンス部による地下ライブ、おいしい限定メニューのお弁当やびっさい印の和菓子の販売などでにぎわいました。

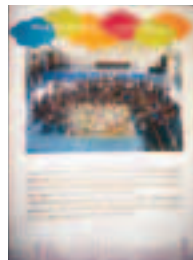
「いしびき市場」（かざりやさん店舗）、石引商店街のお店の方々が協力して制作した、石引商店街のマスコットキャラクター「びっさい」を形どった、びっさいまんじゅう、パン、おもち、おせんべいやびっさいをお寿司で表現した「こんにちは、びっさい寿司」、90種余りのお惣菜からお好みのものをパックできる「ござれ弁当」（ござれ市）、オープニングイベントとして、ふるまい酒（ワインの試飲）があり、小松屋のおかみさんによる、食前、食中、食後に楽しめる世界のワイン銘柄の選び方などのお話に会場は一段と盛り上がります。



休憩処でコーヒーを飲みながら美大の学生さんがつくるクレープやベーカリースイーツをほおぼり、おしゃべりに会話ははずみます。

下馬地藏広場では、「能登屋台」があり、門前そばや能登まいもん堂の能登牛串焼き、瀬戸のいわな塩焼きなどの実演のほか、商店街の店頭には、ワゴンセールなどで期間限定のサービスや食後のコーヒー一杯サービス、10%オフおまけのお菓子、などそのお店ならではのサービスでお迎えます。

お店のショーウィンドーを店舗ギャラリーと見立て、金沢美大生が制作した木彫りアートや革を素材にしたショルダーバッグ、などに「わたしの中の楽しみが、他の誰かの楽しみを誘い出せたらいいなと思います。」等々制作者の想いを語った様々な作品、空き店舗で、保護者・園児・小学生135人のあつまり「びっさいグループ」、「パラダイスグループ」と15人のスタッフが協働したワークショップ「親子でつくろう」夢のまち いしびき作品展」子どもたちが考えた楽しい夢の石引。商店街のあちこちに飾ったアートのたのしさを存分に満喫。商店街の通りは、ラセンの針金に色とりどりの風船がゆらゆらなびくなか、ゆったりと町歩きを楽しむ。



夜間、スダレライト（これもアート展）が商店街の足元をほのかに照らしたす頃、美大と商店街から7団体が出演した石引地下ライブ「ライブ石引ナイト！」の始まり。音とダンスとお酒と人情で石引の夜が盛り上がります。

まちなかアートの最終日の3月28日は、石引広見と下馬地藏前に大きな「風せんアート」でフィナーレを飾りました。

必見

当商店街の空き店舗を活用した活動で目にとまったものがあります。それは、金沢大学医薬保健研究域による「石引よす保健室」。人生を豊かに生きる、キーワードは「健康」。市民の皆様と教員・学生とが交流し、地域に根ざした健康増進科学をつくる。一緒に考え、行動してみませんか？健康増進を地域連携で。

## 講演「地域密着の顧客創造型商店街づくり」

阿部眞一氏（長野県佐久市 岩村田本町商店街振興組合理事長）  
平成21年度第1回都道府県振興職員講習会から  
（平成21年7月16日（木）長野市ホテルJALンテイ長野にて）

佐久市の北部に位置し、北陸新幹線佐久平駅に隣接した商店街。中山道岩村田宿は、内藤家の城下町として知られている。

- 昭和39年 国道141号線の道路拡幅事業
- 昭和41年 本町防災建築街区造成事業の指定（木造住宅のビル化）  
本町商店街協同組合、中央ビル商店街設立。近くに商店街が無いことから、半径50K圏集客し、商店街活況を呈する。
- 昭和46年 道路拡幅、防災建築街区造成事業、アーケード建築事業（第1期近代化事業終了）
- 平成5年 佐久平インターチェンジ開通
- 平成8年 岩村田本町商店街振興組合設立。2つの組合統合（平均年齢36歳の若手経営者）。
- 平成9年 長野新幹線佐久平駅開業。周辺地域の商業集積始まる。大型店移転。
- 平成13年 第2期近代化事業完了（アーケード、カラー舗装）

商店街は、近代化したけど、リーダーシップの弱体化などで商店街動がなくなる。危機を感じた若手経営者、後継者による、2つの組合を統合して商店街振興組合を設立。組合設立で世代交代ができた。

商店街220M、日本一大作戦（6回開催・1万80個のお稲荷さんを並べる、マツタケ海苔巻250Mなど）と銘打ってイベントをおこない、元気な商店街をアピール。NHKから「企画の達人」として放送。また日経ビジネスで「毎月1日ケーキ時計」、面白いことをやっている商店街として紹介される等、「日本一元気な商店街」としてレッテル貼られる。イベント実施で組合員の団結が生まれたが、アンケートの結果、87パーセントの店主から、儲からないことはやめて欲しい、の声。いつのまにか、1/3が空き店舗になっていた。

後継者養成講座を受ける。一商店街の魅力は、個店の魅力の集積である。商店街全員の合意形成は困難、元気のあるものだけでグイグイやっていこう。観光資源は、いろいろあるが、商店街の役割は、地域のお客に喜ばれること。15年前はどうだったのか。儲けは少なかったが、生きていた。これからは、商売を目指す。イベントから地域資源を活用した、手づくり・手仕事に徹しよう、からまず第1弾として、コミュニティ施設「おいでなん処」を開設。

平成14年 コミュニティ施設「おいでなん処」開設。空き店舗（蔵造りの元洋品店改装）対策。地域に公民館なく、地域住民のコミュニケーション交流の場として、アーケード事業に並行して実施。相乗効果発揮。

次に、業種で足りないもの、商店街に必要なものとして、平成14年 本町おかし市場。元陶器店改装し、組合直営の地域密着型食料品店として、野菜、惣菜、加工品販売。

核店舗西友ストアの郊外移転を機に、リハール「おいでなん処 朝市ーいわんだ市」6回開催したところ野菜などに好評を得る。アンケートで、高齢者・共働きに小分けした惣菜がもっといいといわれ、おかみさんパート4人でオープンキッチンで信州産クリームコロッケ、などに人気。

平成16年 チャレンジショップ「本町手仕事村」（元呉服店改装）「手造り・手仕事・技の街」として、2.5坪/1店に区画し、出店者を募集。卒業生が商店街に開業（6店舗）するなど、創業者による新感覚の業種・業態が入店し、空き店舗活用した商店街リフレッシュに貢献する。

平成19年「子育て村」開村、全国初。「安心して子育てができる街」協賛店による割引サービス、特典、イベント実施。親力養成セミナー、視察研修などで、商店街のなかで子どもたちが安心して学べる環境がほしい、の声。商店街は、何のためにあるのか。地域のお客のため、将来を担う子どもたちのために活動することが必要。

川遊び、釣り、子育てセミナー（お母さんとキャッチボールなど）などの色々な行事をおこなう。そんななか、お母さんから、教育についての悩みが多いを聞く。「寺子屋塾」の開設につながっていく。

平成21年 商店街経営の学習塾「岩村田寺子屋塾」（元薬局店）開設する。進学塾に小学生を対象とした基礎学力指導委託。「自主学習ができる子どもを育てる」として、商店街が育てる塾が実現。商店街周辺環境改善、近隣店舗の改装が進み、買い物客が増加する。

今秋、マンションや核家族が増え、乳幼児子育てがわからない、にこえ、「おたすけ村」（退職した保育士による子育て隊）を開村したい。（最後に）

- 1 商店街に他人が入ることにより、「気づき」が始まる。商店街がどこに向かっているのか、商店街の将来に夢が与えられることが必要です。
- 2 個店の生長は、何よりも大事です。お店を継げなかつたら、継げる人にパトタッチして欲しい。それぞれの個店に魅力を醸し出していくことが商店街にとって最も大切なことです。

\* 講師が経営する菓子店では、「高冷地で新たに栽培するお菓子に適した甘くて旨みのある野菜を用いた和洋菓子の製造販売」で農工商等連携事業計画認定（第2期・平成20年12月16日）を受けました。